



森と海の自然科

2020年9月20日

宝塚 丸山湿原ハイキング（番外編）

日時 2020年9月17日（木） 集合 JR宝塚線 武田尾駅改札口 10時20分

参加者 21名

テーマ 兵庫県の貴重な湿原である丸山湿原を訪ね、自然環境保全や貴重な植物・水生生物等を観察。
西谷の森公園口バス停から、丸山湿原（標高280m）ほぼ平坦のコースで7Km程歩く。

【資料：宝塚西谷の森公園、丸山湿原群】

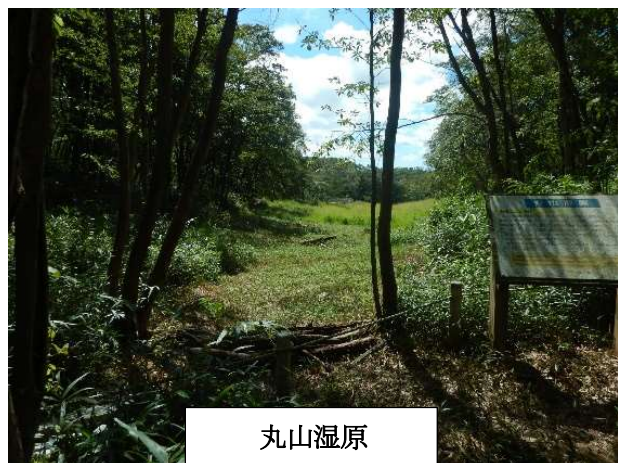
西の谷管理棟 登山の諸準備



遊歩道を一列で！



“タブレットを活用” 映像と大文字入れての説明は大変判り易かった！



丸山湿原



補足 丸山湿原 視点場



右下は丸山湿原



丸山湿原群のなりたち

丸山湿原群のような丘陵地や低山地に分類する湿原はその多くが山中の緩やかな傾面地や谷底にみられます。

丸山湿原群は、幅の広い緩やかな谷底に発達したもので、谷がシルトにより堆積する過程で生じたと考えられます。丸山湿原群周辺の地質は、有馬層群という白亜紀後期に堆積した古い地層であり、境野溶結凝灰岩と呼ばれる凝灰岩が広く分布しています。

当地の凝灰岩は風化しやすく、丸山湿原群周辺の各所には風化の進んだバッドランド地形の「はげ山」を見ることができます。

風化した土は非常に細かい粘土に近いシルトです。

このシルトは雨が降ると傾斜下方へと流れ出して谷底を埋め、傾斜が緩やかでシルトからなる谷底には、水が停滞して湿潤な土地が形成されることになります。

こうしてできたのが丸山湿原群です。



(帰路バス待ち) 阪急バス：西谷の森公園口
バス停……JR 福知山線武田尾駅へ



ハツチョウトンボ



サギソウ

前日の気象予報では、午後3時頃から雨予報で危惧される中、リーダーの手際良い采配にメンバーも協調して、活動は時間内に終了。マスク着用はあるも、山間の自然の中、秋の雰囲気をも十分に堪能した一日でした。

*当地域の自然保護活動団体の多さと、長年継続した活動を HP で拝見・拝読！

現在はドローン導入例も。山（森）・里・海で、気象・自然環境の異常を身近に感じた。